

< あなたの治療について >





血内-Bendamustine 単剤-q3w

今回の治療は、Bendamustine 単剤療法という治療法で、トレアキシシン (TRA) という注射薬を用いて治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と2日目に点滴を行います。この治療を3週間(21日間)ごとに6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	21日目
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分			お休み
	トレアキシシン (抗がん剤) 120mg/m ²	点滴 約1時間			

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

トレアキシシンについて

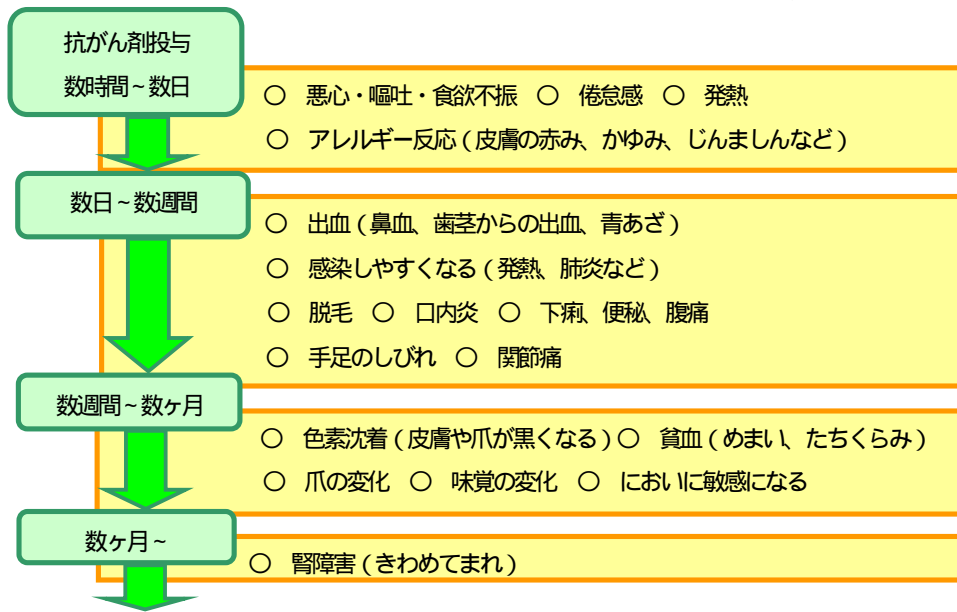
白血球数減少、好中球数減少、血小板数減少、リンパ球数減少、CD4 リンパ球減少、赤血球数減少、ヘモグロビン減少、LDH 上昇、C-反応性蛋白増加、AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、IgM 低下、IgA 低下、悪心、嘔吐、食欲不振、体重減少、便秘、疲労、発疹、発熱、静脈炎

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



**薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)
まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【トレアキシン】

<骨髄機能抑制>いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある

<感染症(敗血症、肺炎等)>寒気がする、ふるえを伴う急激な高熱がでる、脈拍が増加する、筋肉痛がある、関節が痛い、血圧が下がる、咳や痰が出る、息切れがする

<間質性肺炎>熱が出る、から咳が出る、息苦しくなる

<腫瘍崩壊症候群>尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

<重篤な皮膚症状>高熱(38 以上)、目の充血、口や唇のただれ、水ぶくれ

<ショック>顔が青ざめる、冷汗が出る、立ちくらみやめまいがする、息切れがする、意識がなくなる

<アナフラキシー様症状>息苦しくなる、蕁麻疹(じんましん)やかゆみが出る、眼や唇のまわりが腫れる、意識障害がある、心臓がドキドキする、身体がだるくなる、頬などが赤らむ

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。